

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

弥生 月次祭挨拶

サルートン
皆様こんにちは

本日は弥生月次祭と尾張戸神社遙拝祭にご参拝して頂き誠にありがとうございます。

三月に入り気温も上昇し例年では長野県でも雪の名残があると思いましたが、三月四日東海サミット前日に長野主会開催のため皆神山へ向かう道中から、遙、中央アルプスの頂きに雪が残っている程度で、皆神山の山頂石の宮へ参拝する事が出来ました。

サミットには特派を含め五十二人の方が三年ぶりに一堂に集まりました。集合写真は後ろの掲示版に貼ってあります。

議題は防災の連絡体制の充実等、四ブロックに分かれてテーマ別に話し合いをいたし

ました。

防災では、御岳山の噴火、静岡の土砂崩れ、等発生しています。

中でも南海トラフの懸念が起きていますが、十二年前に東日本の大震災が発生してから、東海教区で沿岸に近い名古屋分苑と三河本苑とで大三災・小三災鎮静祈願祝詞を朝拝時に奏上しております。

東海教区の主会長はラインを共有して横の連携をとるよういたしました。

先月二月の月次祭後、本日より本年二月から本年末までの間に、「おほもとしんゆ」(第一巻)「いずのめしんゆ」(霊界物語)(第一巻)の三冊を拝読いたしましたようにと通達がありました。三冊拝読完了し本部に申請いたしますと、記念品がいただけます。

詳細は、一階と二階の掲示版に貼ってありますので拝読

をお願いいたします。

また少年絵画の募集も来ています。応募方法につきましては、事務所の棚に入れてありますので、対象の方達の応募もお願いいたします。

月次祭終了後には、機関長会議を開催いたします。議題は令和四年度の決算報告が主な内容です。

先月二月二十五日・二十六日の教本2級認定講習会

に参加された方で認定書が届いていきますので、お渡しいたします。

六月には教本3級認定講習会を開催いたします。幅広く東海教区の方々にも案内をいたします。

私事ですが、来週二十六日に教主様御臨席のもと執行される静岡分苑設立十周年記念祭典に参拝させて頂きます。内容につきましては、来月ご報告いたします。

本日のご参拝誠にありがとうございます。



行事報告

●月始祭

三月四日(土)

- 参拝者 二十五名
- 齋主 五十川 松子
- 祭員 見田すみ子
- 祭員 畠山 亜美
- 進行 天野 静子

今月は「お雛様の月」に因んで女性の祭員・進行で執行された。

●月次祭

尾張戸神社 遙拝祭
三月十九日(日)

- 参拝者 四十一名
 - 齋主 青山 将士
 - 祭員 妹尾 正治
 - 祭員 小林 清人
 - 裏方 畠山 茂
 - 伶人 佐古 美鈴
 - 伶人 岡田 幸子
 - 伶人 伊藤 恵美子
 - 進行 堀 宜雄
- 祭典後、二月に開催された教本2級講習会の認定証が次の方に授与された。
- みなと会合所 高嶋フミ子
 - 神ノ倉分所 長谷川美枝
 - さわやか支部 鈴木 克彦
 - 明北支部 近藤 哲史



●東海サミット

三月五日(日)に長野主会の主催により松代荘を会場に開催された。

午前十時から池田勝身・長野主会長の開会宣言、野田篤文教区総代の挨拶に続き、前田特派の基調講話「大本信徒



の使命「型」を聴講した。

午後は四班に分かれての分科会で活発な意見交換が行われた。その後、特派の総評があり午後三時に閉会となった。

参加者 五十二名

(名古屋分苑七名)



行事予定

四月十六日(日)

春季大祭・祖霊合同慰霊祭

午前十時より

四月二十二・二十三日(土・日)

誠心会 綾部献勞奉仕

五月五日(金)

みろく大祭 遥拝祭

五月六日(土)

午前十一時より

午後一時半より

●月次祭後に発表された「ちよつと良いお話」を紹介します。

① 古米をピカピカにする精米改良剤

「精米改良剤」「炊飯改良剤」とも言われ、これを精米時に吹き付けると米の白度や光沢を増し古米独特のにおいが消える。改良添加物で一番心配なのは石油から作られたプロピレンを液体プラスチック状にしたプロピレングリコール(溶血作用あり)です。回転ずしや弁当でやたらとピカピカ光る御飯が出てきたらこの「プラスチック米」を疑った方がよい。このような「精米改良剤」は化学薬品メーカーなど五十社が製造し給食産業、外食レストランなどに大量に使われている。一部家庭向けに販売するコメにも改良剤を使用した古米を混ぜている。

簡単なチェック方法は米に水を注ぎ、とぐ前に油が薄く浮くものは「精米改良剤」が使われているかと思つた方がよい

発表者 北一支部 森明人

② お松茶の効用

お松茶は以前、本部の食堂で頂くとか、たまに自宅で煎じて飲むくらいでしたが、コロナ禍でワクチン接種とか言われていた教主様のご挨拶の中で「ご神水・お土・お松・梅干しを頂くように」とお示し頂きそれをきっかけにお松茶を毎日頂いていました。

昨年夏、三重県に住んでいる長男から連絡あり嫁が体調を崩しコロナの検査は陰性なのに匂いも感じず、味も分からなく苦しんでいるとの事で孫の世話もあり急遽自宅を訪問。大本の話やお松茶の事を未信徒の嫁には話す機会がないままでしたが、持参したお松茶を「お松の葉を煎じたお茶で身体にとってもいいよ」と勧めました。「最近松の葉が身体に良いと聴いていました」と素直に飲んでくれました。お松茶を飲みながら話をしていると十五分位たった頃「あつお茶の匂いがわかる」と突然「お松茶が効いたのか」と嬉しそうでした。夕方の買い物時でもパン屋さんの前での香しい匂いもわかり喜んでいました。夕飯時には味覚も感じられるようになって来ました。その後松葉とやかんをセットにして送り、引き続きお松茶を飲んで頂きました。八月のお盆に帰省された時にはすっかり元気になっていました。お松茶は薬でなく即効性を期待するものでないので嫁の味覚、臭覚、体調が直ぐに改善されたのは私も驚きましたが、飲み続ける事で身体の中から改善されるのは確かだと思えます。

花粉症にも良いと云う話もあり効用を検索してみました(抗酸化作用(身体をさびつかせない)・生活習慣病予防・コレステロール値調整・血圧コントロール・解毒作用・リラックス効果・炎症抑制)良い事ばかりです。神様にお供えたお松葉を使わせている事でそれ以上に効果大だと思います。始められてない方には是非お勧め致します。

発表者 若葉支部 伊藤恵美子